

① 男女共同参画推進講座「男女共同参画の視点で作る避難所ワークショップ」の報告について

【作山委員】

- ・ 講座内容についての満足度は大変良かった、良かったと回答した参加者は49名（98%）で講座が成功に終わったと評価できる。「せんだい防災プロジェクトチーム」のような団体の必要性について必要だと思うが39名（78%）と高いことから、何らかの手立てを検討していく環境整備もこの審議会の仕事かと考える。

また、2015年3月14日に第3回国連防災世界大会会議が仙台に於いて開催予定である。超高齢社会の到来は防災生活のあり方にも影響を及ぼしているため、柴田町に於いては防災と高齢社会等の課題についての検討も必要であろう。

【大槻委員】

- ・ 報告書に「当初の目的が達成された」とありました。素晴らしい事業だったと思います。
 - 参加者の男女の人数は？
 - 参加者の年齢層は？

【牛澤委員】

- ・ 課題が実践的で、なるほど～と思いました。参加できなかったことが残念です。
- ・ 参加者の61人に対して、回答数50人は少ないような気がします。無回答も残念です。
- ・ 柴田町にもこのような団体が必要と思う方が多いうちに、早急に動くべきではないかと思いました。この方々の口コミで輪が広がることを希望します。

◎事務局回答

- ・ アンケートの結果では参加者の多くが、せんだい防災プロジェクトチームのような団体が必要と回答し、さらに活動に参加したいと感じていたため、ここから次に繋げる施策を考えていかなければならないと感じています。審議会からアドバイスクださいますようお願いします。
- ・ 参加者の男女の人数については、男性22人、女性39人でした。
- ・ 参加者の年齢層については、正確に把握できていませんが、5～60代の方の出席が多かったととらえています。

②平成27年度男女共同参画推進事業について

【作山委員】

- ・ 男女共同参画社会アンケートの結果、「3女性の雇用拡大について」では「子育て支援制度の充実 n=195 (23.8%)」「町内事業所の女性求人に特化した情報の提供 n=93 (11.3%)」「求職者と町内事業求人のマッチング n=90 (11%)」「町内事業所への男女共同参画の周知・徹底 n=86 10.5%」である。少子高齢社会の課題、町民のニーズも子育て支援の充実が挙げられるであろう。
- ・ 町の事業として、それぞれの課がばらばらに行っている目標の具現化が散見されたので、予算を集約して〇〇課と△△課合同の事業もあってよいように思える。次世代育成と高齢者の社会参加活動をリンクさせ、放課後児童クラブの講師を退職した方に委嘱状を発令して、担ってもらう等、高齢者の生きがいにも繋がるものがある。

【大槻委員】

- ・ アンケート参加者の希望を反映した、より具体的な事業内容を取り入れる。
- ・ 平成26年度事業計画書の「目標Ⅳ防災分野での男女共同参画の推進」では、総務課は事業内容にプロジェクトチームの編成とか、このことにより平成27年度版の事業評価の実現が明確になるのでは。

【牛澤委員】

- ・ 今回のワークショップの課題は、男女共同参画出来るものでしたので、皆さんが必要、不安と思われる防災という目的に向けて進めてよいのではないのでしょうか。

◎事務局回答

- ・ 審議会からの意見を踏まえ、日程や事業手法、講師との調整など検討します。

③第4次しばた男女共同参画プラン策定に関するアンケートの報告について

【作山委員】

- ・ 全体的に経済活動が冷えてきて、生活のゆとりがなく厳しい状況に追い込まれているように感じ取ることができる。
- ・ 元気な高齢者がいること、さらに町作りに参画して活性化できる可能性を探すことも必要であると考えます。
- ・ 手元に2011年11月号、No. 601 「広報 しばた」がある。第3次しばた男女共同参画プラン策定中 と特集を組んで掲載されている。これだけ広報活動が行われていても文言として聞いたことがない、もっとわかりやすい言葉で等の声が挙がっていることに対し、高齢者に理解されるための広報手段を検討も必要であろう。
- ・ アンケートは大切な町民のニーズが浮き彫りにされているので、きちんと活用・公表していきたい。

【大槻委員】

- ・ アンケートを実施したのなら、各課が実現可能な事業を明確にして、町民に成果を報告する必要があります。
- ・ 結果に基づいたミニアンケートの実施。

【牛澤委員】

- ・ 集計ありがとうございました。回収率が低く残念です。
- ・ 個々の意見、要望が読めてたくさんの思いが伝わりました。
- ・ 女性という問題ばかり増えないようにバランスよく設定することが大事かと思えます。
- ・ 用語、防災については是非載せていただきたいです。

◎事務局回答

- ・ 今後アンケートは後日公表します。
- ・ アンケート結果を参考に第4次プランの素案作成に取り組みます。審議会からの意見をできるだけ含んだ計画になるよう努めます。